



みんなで集まって、ジャグって、観て、語り合う。

それだけのことが、まだまだ難しい中でのこと。

今年も何とか JJF が開催され、

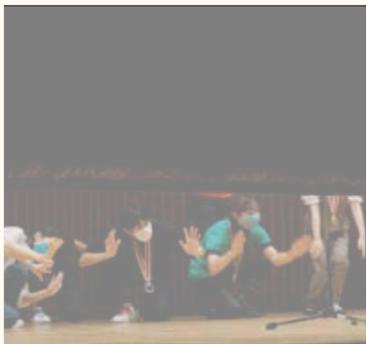
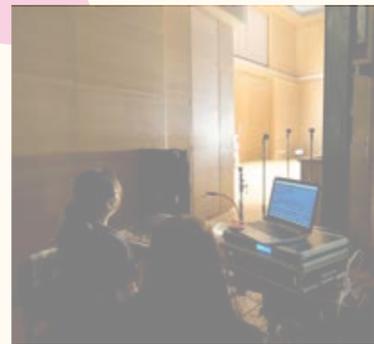
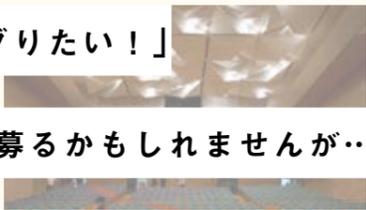
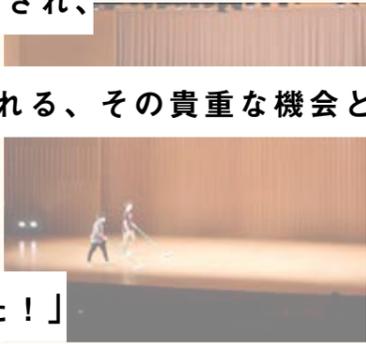
みんなで集まって、観られる、その貴重な機会となりました。

「自分も観に行きたかった！」

「やっぱりみんなとジャグりたい！」

そんな気持ちがますます募るかもしれませんが……

今回の JJF を、この紙面を介して、「みんなで」振り返ってみましょう。



## もくじ

特集JJF2021	3
JJF2021ゲストステージPhoto	4
JJF2021開催概要	5
チャンピオンシップ予選データ	6
チャンピオンシップ2021予選講評	7
チャンピオンシップ2021決戦データ	8
チャンピオンシップ2021決戦講評	9
チャンピオンシップ2021全体講評	10
チャンピオンシップ2021Photo	12
チャンピオンシップ2021入賞者コメント	16
ゲストインタビュー・山村 佑理	18
ゲストインタビュー・ケントカイト	22
ゲストインタビュー・空転軌道	26
理事会から	30

## たまにつき

### 「転機」

技、道具、動画、オンライン化……ジャグリング界には様々な転機がありました。そして今号が私の編集部員としての最終号となり、協会誌「Shall We Juggle?」も転機を迎えます。

私が編集部員としてこだわったことは「記録に残す」ということです。

過去を振り返ったときに、その時のジャグリング界がどのようなものであったかが伝わることを重点に置き編集活動をしてきました。

例えば、JJF特集号ではCS出場者が注目される中で、イベントに参加した一般参加者も主人公であり、その楽しさを記録した「みんなのJJF」を企画しました。また、以前はチャンピオンシップ入賞者のコメントや写真を中心に載せていた誌面を、決勝出場者全員の写真を掲載することにこだわり、出場者名だけでは残せない、どのような道具や演技であったかを誌面から伝えることを意識しました。

JJF特集だけでなく、その当時のジャグリング界の様子を記録するため「Juggling Yellow Page (ジャグリングに携わる団体の名簿)」や「日本の大会」を特集したこともあります。

私のこだわりが将来のジャグリング界に何かを残すことができたら幸いです。

ジャグリング雑誌の編集が面白そう、しがたない大学生がSWJ誌に興味を持ち編集部の門戸をたたき、約11年間、編集作業に携わってきました。

大会出場歴がなければ、もちろん受賞歴もありません。大学生になってジャグリングを始めた、ただの学生でした。今考えると突然門戸を叩いた自分を編集部の方はよく受け入れてくださったと思います。

編集部での活動は嬉しいことも、そうでないことも、その全てが私の財産になりました。

多くの方々にお世話になり、個別に御礼を申し上げたいくらいですが、全ての方のお名前を挙げることはできませんので、この場をお借りして心より御礼申し上げます。

今後は協会がジャグリングに携わる皆さんに、新しいかたちで情報発信をしていくのではないかと思います。これからのジャグリング界の発展を願い、ジャグリングファンとしてジャグリングに携わる皆さんを応援しています。

皆さんが素敵なジャグリングライフを過ごされますように。これまで本当にありがとうございました。

(今思い返すとJJF2006で「SWJ編集長 夏目鶴吉」の名刺を拾ったことが私の中で一つの転機だったのしれませんね。)

な

# 開催概要

Japan Juggling Festival 2021 in Tokyo

## 日程

2021年10月9日(土)～10月11日(月)

※上記日程で開催を予定していましたが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大により  
スポーツ棟での練習やイベントは開催中止となりました。

## 会場

国立オリンピック記念青少年総合センター

## チャンピオンシップ決勝

2021年10月9日(土) 16:30 開場 17:30 開演  
大ホール/小ホール(パブリックビューイング)

## ゲストステージ

2021年10月10日(日) 16:30 開場 17:30 開演  
大ホール

## 参加申し込み期間

第1期販売期間 8月7日(土) 12:00～9月29日(水) 23:59  
第2期販売期間 8月21日(土) 12:00～9月29日(水) 23:59  
※チャンピオンシップは2期に分けて販売。

## チケット販売枚数

チャンピオンシップ: 335枚 ゲストステージ: 186枚

# 実行委員会名簿

Japan Juggling Festival 2021 in Tokyo

### JJF2021 実行委員会

実行委員長	篠宮 瑞生
副実行委員長	世良 京太
実行委員	高島 潤
実行委員	笹島 裕樹
実行委員	甲良 大宗
実行委員	松本 拓朗
Web 担当	尾納 宗仁

### チャンピオンシップ事務局

事務局長	小野口 貴仁
事務局スタッフ	諏訪 浩貴
事務局スタッフ	松長 諒
事務局スタッフ	白水 開
事務局スタッフ	星 哉月

### 舞台進行統括

ビデオ撮影班	
竹内 正則	関矢 昌宏
武藤 美貴子	山田 考允
柿崎 勝行	岡本 晃樹
	松前 健司

### チャンピオンシップ客席スタッフ

メイン担当	徳川 亮祐
スタッフ	奥野 むつ美
スタッフ	向川 大河
スタッフ	和田 海秀
スタッフ	黒澤 義男
スタッフ	市川 桃香
スタッフ	英美

### ゲストステージ客席スタッフ

メイン担当	山口 誉登
サブチーフ	池谷 真友子
スタッフ	浅井 航平
スタッフ	猪俣 大志
スタッフ	大熊 悠介
スタッフ	岡井 悠斗
スタッフ	古関 萌
スタッフ	小村 大樹
スタッフ	佐々木 正人
スタッフ	佐々木 悠斗
スタッフ	松田 仁
スタッフ	南 孝太郎

### 感染対策・救護

チーフ	まさやん
スタッフ	じゅぐる
スタッフ	スズキシュンペイ
スタッフ	甲良 大宗

### 主催 NPO 日本ジャグリング協会

理事長	吉永 裕紀
理事	米屋 遊
理事	浦和 新
理事	星野 充宏
理事	小野口 貴仁
理事	後藤 猛文
監事	松岡 寿典
名誉顧問	Peter Frankl
名誉顧問	本郷 仁一
事務局長	樋口 崇文

# Japan Juggling Festival 2021 in Tokyo ゲストステージ



※感染対策の上、撮影の直前にマスクを外しています。

# 予選データ

## コンセプト

日本一のジャグリングパフォーマンスを選定することを通して、世界に通用するパフォーマーの育成に寄与し、日本におけるジャグリングの発展を総合的に促進する。

## 開催要項

JJF2021 サイト「チャンピオンシップ 開催要項」を参照ください。

<https://www.juggling.jp/jjf/2021/jp/pdf/JJF2021CS.pdf>



## 決勝進出

部門	組数
男子個人	10
女子個人	1
チーム	3
合計	14

## 予選エントリー

部門	組数
男子個人	14
女子個人	1
チーム	3
合計	18

## 道具の利用数 (出場取り消しを除く)

道具	男子個人	女子個人	チーム	合計
ディアボロ	5			5
シガーボックス	2		1	3
ボール	2			2
スタッフ	2			2
クラブ	1		1	2
ポイ		1	1	2
けん玉	1			1
ロシアンボール	1			1
バウンスボール	1			1
合計	15	1	3	19

## 予選審査委員

藤村保志花・亀井大輝・渡邊隼人・世良京太 (審査委員長)・小林智裕・まさやん・鈴木志歩・山下耕平・中西隼斗・小澤駿弥

# 予選講評

審査委員長 世良京太

男子個人14組、女子個人1組、チーム3組のエントリーがありました。全18組に対して審査委員10名が予選審査を行いました。全体応募者は少なかつたですが、実力者ばかりのハイレベルな戦いになりました。審査は、提出されたビデオを閲覧して、「完成度」、「難易度」、「構成」、「エンターテインメント性」、「希少性」について、全て同じ重み付けで評価をします。それぞれの内容については解説がJJFのホームページに公開されているのでご参照ください。審査員はそれぞれ決勝進出に値すると判断した出場者にOKを付け、OKの数の多い者が決勝に進出します。各部門2組以上11組以下の制約のもと、決勝出場者は基本的に15組とします。今年度は女子個人が1組であったため、自動的に決勝進出することができました。また全体としてはOKの多いものから14組が決勝に進出することが決まりました。15組ではなかった理由としては、14番目の方と15番目の方のOKの数が差があったためです。

コロナ禍の中で、JJFCSの予選動画を撮影しきった応募者全員を予選通過させたい気持ちを審査員全員は持っていたと伺っています。しかしステージの使用時間等の制限があるため、断腸の思いでOKの判断を行いました。判断をしていく中で、予選通過者とそれ以外の方で少し差があったポイントについてお話していきたいと思えます。

### ●「完成度」について

予選ビデオは失敗のない演技ができるまで、何度も撮り直すことができます。そのため提

出された動画のほとんどは完成度が非常に高いです。ドロップ並びにミスが無いことはもちろんのこと、体の不自然なブレ等が最小限に抑えられています。予選通過者にとってはノミスの演技を当たり前のように披露することができるように感じました。

### ●「難易度」「希少性」について

ジャグリングの技術は日々進化しています。過去に注目を浴びた難易度並びに希少性のある技でも、数年経過すると多くの人が会得し、技の鮮度は無くなってしまいます。このようなジャグリング会のバージョンアップの中で、難易度・希少性を出していくことは至難の業です。しかしこれ乗り越えた人がCSの舞台に立つことができると感じました。

また審査には直接関係ないところではあります。予選動画そのものの画質が低く道具が見辛かったり、演者の表情が見え辛かったりするものがありました。見えづらいものについては適切な評価ができない場合があります。映像を予めチェックし、観やすい映像になっているかを冷静に確認してみてください。

最後に、予選通過者の発表日が急遽2日間前倒しになりました。コロナ禍の状況を鑑みJJF全体のスケジュールの見直しの結果であると、実行委員から伺っています。コロナ禍で先が見通せない状況であるため、応募者は最新情報をキャッチするためにもJJF公式Twitter等の情報媒体をフォローすることを強くお勧めします。

# 決勝データ



チャンピオンシップ 2021

## 決勝講評

審査委員長 世良京太

### 決勝集計

項目	集計値
演技時間合計	1時間12分16秒
制限時間オーバー	1組
ドロップ回数合計	65回

### 決勝進出者

- 男子個人** 内海大樹、工藤正景、小川大賀、吾郷天星、クラタ クミ、上田尚弥、xk、鳥居岳史、高橋優弘、清水公太
- 女子個人** 高橋由季乃
- チーム** 赤いきつねと緑のたぬき、WANTED、マリモと落花生

### 決勝審査結果

- 男子個人** 1位 高橋優弘      2位 鳥居岳史      3位 工藤正景
- 女子個人** 1位 高橋由季乃
- チーム** 1位 マリモと落花生      2位 WANTED      3位 赤いきつねと緑のたぬき

#### 【男子個人】

登録名	A	B	C	D	E	F	補	順位点合計	順
内海大樹									10
工藤正景	3		5	6	3	3		15	3
小川大賀		4			6			4	8
吾郷天星	6							1	9
クラタ クミ	4	3	4	4		6		14	4
上田 尚弥		6	3	3		5		11	5
xk	5	5	6	5	4			10	6
鳥居岳史	2	2	2	2	1	2		35	2
高橋優弘	1	1	1	1	2	1	-5	50	1
清水公太					5	4		5	7

#### 【女子個人】

登録名	A	B	C	D	E	F	補	順位点合計	順
高橋由季乃	1	1	1	1	1	1		60	1

#### 【チーム】

登録名	A	B	C	D	E	F	補	順位点合計	順
赤いきつねと緑のたぬき	3	3	3	3	2	3		25	3
WANTED	2	2	1	1	3	2		39	2
マリモと落花生	1	1	2	2	1	1		50	1

名前の後の7個の数字が7名の審査委員のつけた1位～6位です。7位以降は空欄にしています。7名の審査委員は匿名で、左からA、B、C、D、E、F、Gさんとします。部門によって並べ方が違うので、例えば男子個人部門のA審査委員と女子個人部門のA審査委員は別の人である可能性があります。順位点は1位から順に10、5、4、3、2、1点となります。

2019年の台風及び、2020年のコロナ流行より2018年以降チャンピオンシップの決勝は開催されていませんでした。そのため私だけでなく多くの人が、ジャグリング技術の動向を気にかけていたと思います。しかし、ふたを開けてみれば着実に技術革新が行われていることを確認できました。決勝進出者がコロナ禍の中でも地道な努力を欠かさなかったことを伺い知ることができました。本大会では出場者14組に対して審査委員6名が決勝審査を行いました。チーム部門は3チームによる争いとなりました。コロナ禍ではチームメンバーが集まって練習すること自体が困難であったと思います。そんな中、マリモと落花生さんはパートナーボーイの高度な技を披露し優勝しました。演技中にスマホで自撮りをする演出等、それぞれのキャラクターをしっかり表現できた点も高評価でした。

女子部門は高橋由季乃さん1名のみが出場しました。ボーイの中で高度な技であるタンブラー、ガンスリンガー、複雑なボディトレースなどの発展技を次々に成功させ、文句無しに優勝を勝ち取りました。今でも十分高レベルな演技が出来ていましたが、ストール及び身体の静止等のメリハリをつけると、さらに素晴らしいものになると思います！

最後に男子個人部門について解説します。高橋優弘さんはトスの軌道・フォームの安定感はもちろんのこと世界で彼しかできない技を多数繰り出し、優勝を勝ち取りました。多少のタイムオーバーはありましたが、それでも優勝できたことから彼の行った演技のレベルの高さを改めて実感しました。ちなみにJJFCSの長い歴史の中でも男子個人部門

を2回優勝した人は今までおらず、初の快挙です。次に惜しくも2位となった鳥居岳史さんは、競技人口の多いディアボロの演技を行いました。このすべての分野において日本で彼しかできない技を多く披露していただきました。またミス数も全演者の中で一番少なく、堂々とした演技は印象的でした。工藤正景さんは男子個人部門の予選を2017年・2018年・2019年と通過されていますが、更に洗練された演技構成を持って見事3位になりました。他の出場者においては台風で中止になったJJF2019のCSに挑戦された方も多く、2年間大会へのモチベーションを維持し続け素晴らしいと思いました。

全体を通して、演者全員のドロップ数は14人総計で65回と例年に比べ比較的少ないですが、ドロップ後からリカバリーまでの演技中断時間を考慮すると、完成度が上がりきらない印象を受けました。完成度の高い演技を目指す場合はドロップの低減以外にも、自身の技や道具の特徴を考慮し、ミスした時のリカバリーにかかる時間をできるだけ少なくする必要があります。

最後に個人的な特別賞を、観客の皆さんに送りたいと思います。というのも2年ぶりのJJFCS、日本で最高レベルのジャグリングを目の当たりにしている中、コロナのガイドラインを遵守し大きな歓声を上げることなく観戦できたことが表彰に値すると思います！本大会にご協力ありがとうございました！！

(何度か予選を見ていた私でしたが、演者が大技を決めたときは少し声が漏れてしまいました。。。)



チャンピオンシップ 2021

# 全体講評

審査委員長 世良京太

JJF2021チャンピオンシップの全体講評を書かせていただきます。

## ●開催までの背景について

JJF2021は体育館での交流会は中止になりましたがチャンピオンシップのステージは、映画館及び劇場と同様の感染対策を実施することで、開催することが出来たと伺っています。その結果、コロナの感染者を出すことも無く無事終わることができました。チャンピオンシップを開催するために最善を尽くしていただいた実行委員のみなさん、ありがとうございます。

## ●今後について

本大会を参考に、今後のルールのアップデートについて審査員の中で協議を続けております。

順位の傾斜配点については、1位10点、2位5点、3位4点、4位3点、5位2点、6位1点と規定されています。しかし1位と2位の方選手の演技が僅差であった場合でも、大きな点差が発生することになります。そのため最適な得点の傾斜を見直していきたいと思っております。

予選動画へのコメントについては、現在予選落ちした応募者のみに送付していましたが、今後のジャグリングの発展を考え応募者全員に送付すべきかどうか検討しています。

審査委員の人数については、最も多い時期から半数になり、審査委員不足が深刻になっております。審査委員の追加については、他の審査委員からの推薦や公募がきっかけになります。任期は一期5年ですが、「またJJFを目指したい」等の理由で任期終了前に退任することは可能です。審査員の中でも新任も推薦を積極的に行っていきますが、「我こそは！」と思う方は是非、審査委員に立候補して頂きたいと思っております。

最後になりましたが、素晴らしい演技を魅せてくれた出演者の皆さん、この大舞台のために尽力してくださったスタッフの皆さん、そしてなによりもたくさんのお客様の皆さん、本当にありがとうございました。

06. 工藤正景



04. マリモと落花生



02. 赤いきつねと緑のたぬき



# チャンピオンシップ 2021



07. 小川大賀



05. 内海大樹



03.WANTED



01. 高橋由季乃



13. 高橋優弘



11.xk



09. クラタ クミ



# チャンピオンシップ 2021



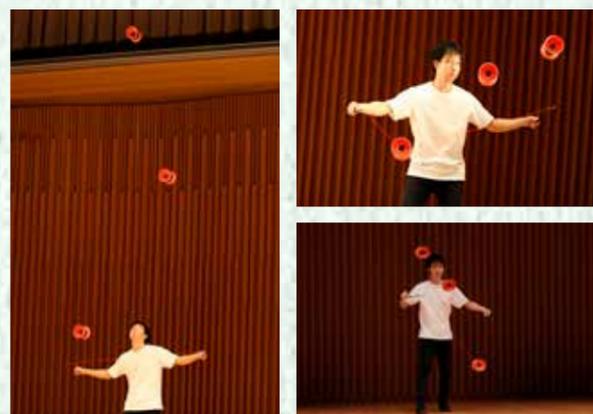
14. 清水公太



12. 鳥居岳史



10. 上田尚弥



08. 吾郷天星







## JJF2021 ゲストインタビュー

# 山村 佑理

モノと共に踊るジャグラー・ダンサー・振付家。主にボールを使用したジャグリングを、踊りに昇華する手法を探求する。過去「ながめくらしつ」[Daggle Crew]「頭と口」のメンバーとして出演/一部振付に携わる。2014-16年フランスのサーカス学校「Le Lido」にて修行。帰国後はJuggling Dance Studio tasse / ダンスサーカス集団BAZAR / 山村佑理 個人として、ダンサーや音楽家など様々なアーティストとの共作・共演を行う。

(JJF2021Webサイトより引用)

**西野** (以下、西) 今回のJJFゲストの感想を一言お願いします。  
**山村** (以下、山) 非常に高栄です。JJFに初めて来たのが2006年の代々木で、中学生でした。それがどっぷりジャグリングに浸かっていくきっかけになった日でした。

**西** 2006年のゲストっていうと、マーク・ファートナーかな。

**山** そう、あとトーマス・ディーツでしたね。体育館で遊んでる様子は覚えてます。ゲストステージは見てないんですが、チャンピオンシップ(以下、CS)で非常に感銘を受けたので、憧れが芽生えました。それ以来、2008年の神戸から4年連続でCSに出て、最後が10年前の代々木だったんです。それ以降JJFの舞台に立つことはなくなったので、ちょうど10年振りに機会をいただいたのは、何かの縁だと思っています。

**西** ジャグリングを始めたきっかけを教えてください。

**山** 近所の高校生のお兄さんですね。親が忙しくてたんで、徒歩1分圏内にあった児童館に毎日のようにお世話になってたんです。そこで10歳の頃に、高校生のお兄さんのタダ君がジャグリングをやっているのを見て、面白そうだなと思い始めました。

**西** 彼は児童館に教えに来ていたんですか？

**山** 教えに来ていたというよりは、タダ君が当時ジャグリングにはまってて、児童館の発表会で披露してたんですよ。僕はソーラン節を踊ったり、マジックをやったりしてました。人前に立つことにはずっと興味があって、ジャグリングに心惹かれたんです。

**西** プロになるきっかけはいつですか。

**山** 一つは2008年のJJFです。KOMERI(※1)さんと佐藤信春(※2)さんと尊敬してるジャグラーの方々と並んだときに、うぬぼれたんですね。自分にも頑張ったら何かできるかな、ぐらいの甘い気持ちで踏み出しました。もう一つは、その翌年に出会った、岡本晃樹さんこと、ルキ先輩です。当時、ジェイ・ギリガンが、シューボックスツアー(SBT)っていうアメリカツアーを夏に開催してた時期がありまして。そのツアーは、なぜか彼が率いる作品群の中に日本人のジャグラーをブックイングするっていう妙なことがあって、ルキさんと、その紹介で自分も連れて行ってもらったことになったんです。ツアーのメンバーは、ジェイ・ギリガンとエリック・オーベリ、ウエス・ベデン、パトリック・エルムナートと、ルキさんと私でした。そこでは、みんな自分だけの道を突き詰めて格好いいのに、俺は何て格好悪いんだろうってすごく傷ついたんです。同時に、ジェイは30歳、自分はまだ16歳で、「まだ猶予があるし、続けていけば何かあるのかもしれない」という勇気ももらいました。今28歳で、ジェイ師匠に追いつけるとはとても思えないけど、自分なりの道を前よりは幾つか見つけてきたと感じています。それならうれいかなと思いつつ、もっと頑張ろうという気持ちです。ジェイだってまだまだ進んでますから。

**西** JJF2008で職業としてできそうだなって気がして、SBTでそのうぬぼれに気が付いたということですか。

**山** そうです。今の俺には到底たり着けない領域にいる人たちの存在が明らかになると同時に、なんてうぬぼれやろうだ、って。

**西** 2008年は夏目杯(※3)と、三玉王(※4)も獲っていたのにですか？

**山** はい。三玉王で2回勝ったのもうぬぼれ要因ですよ。ただか15歳に勝たせるな、お前ら何やってんだって気持ちでした。勝ってうれしいよりも、フツツと怒りたいたいものがある。ぬぼれと結びついて育ったのをよく覚えてます。アメリカへ行こうってのも同じだし。12歳ぐらいからJJFのVHSのテープをすり切れるまで見てジャグリングを習得したので、JJFに出るのも1個の夢でした。ツアーの間にはJJFのCSにも応募したんですけど、全く思いどおりにいかなかったですね。アメリカではとことんポコポコにされました。その2年ぐらいの出来事、いまだに原動力の一部になっています。

**西** さっき名前のあがった4人がJJFのゲストステージへ出演した年がありましたね。

**山** 2012年です。僕がちょうどCSに応募しなくなったり、落ちたりし始めた頃ですね。3年振りの再会と共に、彼らの進化した舞台を東京で見るとは感慨深いものがありました。何より格好良かったんです。ゲストという名が付いたとしても、今回ゲストステージに出演する自分とは同じ立場じゃないです。彼らは4人組でもわざわざ海外から呼ぶ価値があって、それと比べると自分は1人だし、国内です。から、とはいえ、今年はコロナの情勢もあって、海外の人を呼べないなりに考えたキャストイングだと解釈して、試されてると思っただし、緊張しました。

**西** 海外から来たゲストも含めて、「JJFは緊張する」っていういい感想は、いつも聞いています。ゲストステージは、CSの後に開催されますしね。

**山** JJFやEJCに行っただけのこと、ジャグラーに強い弱い関係ないってことです。もちろん内容の一部に競技会はあるから、そこでは強い人決めようって遊びをするけど、



それはおまけなんですよ。全体としてはジャグリングやってない人も、家族がいるから来る人も、見る人が好きって人もいるし、参加者の幅が広いわけ。期間が長くて、たくさんイベントがあるっていうのも原因だと思います。日本だと、短い期間の中でCSやゲストステージがあって、割合としてその強さが際立ってるんです。でも、それ以外にも日本のジャグリングが競技会に強く惹かれるのは、みんな技開発部門に居たがるからだと思います。日本のジャグラーって、ジャグリングを習得して新しい技開発して……っていう過程をかなり多くのプレイヤーがやっているんですよ。プロはTPOに合ったものをつくることと優先されるので、技の開発って必要不可欠ではないんです。なので、アマチュアが自分の好きなようにひたすらジャグリングを追求していることが、今のCSの大きな軸をつくっている気がします。昨日のCSは、本当にみんな強かったなって。

**西** 大変同感で、佑理君やKOMERI君のようなオリジナリティが日本の特徴っていうところはあります。2007年にジェイが日本に来たときに最初に言ったのが「セバスちゃん(※5)はどこだ」で(笑)。だから、そういう変なことをやっていく、開発することに對する日本への期待が大きい気がします。

**山** 日本的文化の一つに「節操のなさ」っていうのがあって、人は何かに感銘を受けて模倣や発展させると思うんですけど、そのリスクベクトルの民度が非常に低い。あと、個性的な人が評価されるのは、海外で価値があるからな



んですけど、日本ではその土壌はないと思っっています。尖っていけば評価される部分と、周りがそれを簡単に模倣して、良くも悪くも、ワラワラと寄ってくる感覚は、どう捉えたらいいかずっと考えてます。私もいろんな人を節操なく真似することで学んでいました。私が何か開発し始めた頃はすぐ真似されて、最初は気持ち悪いって思いますが強かったけど、今はうれいし、どんどん真似されてほしい。でも、最近、あまり真似されてる感じがしないから、もうちょっと真似して欲しいな、みたいな、妙な矛盾した要求を持っています。

**西** 節操ない二次創作でできている日本の不思議な文化が、ジャグリング界でも同じというの、なるほどだと思います。

**山** JJFを見て、みんなスタイルが似すぎていてちょっと気持ち悪い、もっと自分を大事にしてほしいな。JJFって、強そうに見せなきゃ

いけない文化がある気がして、別に、舞台上で虚勢張らなくてもいいです。昨日のCSは結構無理して頑張っただけで人が多かったです。みんなすごく良かったからこそ、もっと自分勝手な良かっただけです。6分間に技詰め込まなくていいし、xkさんみたいなにはっちゃけてもいいわけです。僕も、舞台慣れしてない不安から余計に強そうに振る舞うことがあるからこそ、頑張らなくていいです。自分の鏡を見るような複雑な気持ちでしたけど、楽しかったです。

**西** 2006年からJJFに参加して、ジャグリングの人生とJJFがほぼ同じ感じじゃないですか。その後海外行ったり、波乱万丈ですよ。

**山** いや、本当に落ち着きのない人間なんで(笑)。  
**西** 例えば、Lidoに行く決断はどんな感じでしたか。  
**山** フランスに行くきっかけは、19

※1. ダンスとジャグリングを合体させたパフォーマンス「Daggle」の発案者。JJF2020ではゲストステージに出演し、ボール、リング、ハット、ステッキなどを組み合わせた映像作品「Regression++」を公開した。  
※2. ボールやハットを使用したジャグリングに、サッカーボールや木杵などを組み合わせたパフォーマンスを行うジャグラー。JJF2001のCSで準優勝。  
※3. 夏目鶴吉(SWJ前編集長)が主催し、ジャグリング技術の高い人が選出されたJJFイベント。  
※4. 2003年に開始されたボールジャグリングの競技会。使用できるボールは0個から3個まで、演技時間は0分から3分までというルールが設けられている。  
※5. Webサイト「DEEPUJGLING」を運営し、inline3やシンガーボックスのスイングなど多くの新技を開発



20歳の辺りです。ながめくらしつ(※6)での創作と、それと同時並行してKOMEEさんとTAISHIさんとDagger Crew(※7)をやってきました。どちらもダンスや舞台表現、ジャグリングの結びつきを研究する機会が、糧になった創作の軸でした。同時に、大学に通いながら自分のソロ活動もしていて、非常に多忙な1年を過ごしました。でも、情報量が多すぎて、2年生で学校に通えなくなり、春の時点でもう留年が決まっていた。大学も面白くなかったんです。興味深い授業がたくさんあったし、もっと真面目にやれば良かった後悔はあるんだけど。親にも学びたいことを学べる場所に行くことを勧められて、探したのがフランスにあるLidoだったんです。そこはオーディション制で、受かったらフランス行くし、受からなかったら諦めて大学通う、という中で運良く拾っていただけました。ながめくらしつやDagger Crewと

の別れも惜しみつつ行った記憶があります。今思えば、非常に面白い選択だと思いますけど、大学にしろ人間関係にしろ、あんまり上手くできなかった未練があります。

西 Lidoに行くのはすごいことだと思います。行ってみたいと思ってた。まず、気が楽になりました。その2年で、誰かの期待に応えよう、人に過剰に適応しようとするところから、少し距離を取れるようになったかなと思います。Lidoは特殊で、職業訓練校という位置付けの教育機関として、お給料をもらいながら、2年間ひたすら創作させる学校だったんです。サカスのテクニクを学ぶのではなくて、プロレベルの人が創作と発表を軸にしなが、自分の技術や理論へ疑問を掛けて再構築するところです。演劇やダンス、音楽、文学とか、サカスの周辺分野の授業が綿々と展開されて、その合間に月に1回程度、ワーク

シヨップが入れられ続ける。でも、新作は創り続けたいいけない。

西 厳しいね。学校のあるトゥールーズはサカス関係者の多い街なんですけど、街の人も誰でも入れるっていう所で毎月発表しないといけないんです。

西 毎月発表しなきゃいけないんです。そうになったりすると思うんですけど。

山 いましたね(笑)。僕も授業はスキップしてましたけど、発表だけはスキップしないようにしていました。一時期授業に行けなくなったりときは、発表だけして、しばらくして復帰する、みたいなことをしていましたけど。Lidoは、5回オーディション落ちても受けるみたいな人もいるぐらいの気分で、その自由で贅沢な環境で過ごす権利を全世界の人が狙ってるんです。

西 僕が一回で合格できたのは本当にラッキーだったと思う。同期の15人のうち、僕を含めて4人がジャグラーでした。

西 同期の15人のままとまりはどうでしたか。

山 僕は人間関係がへたくそでとても迷惑をかけたんですけど、それでも支えてくれる人たちがいました。僕以上にフランスの取れない人たちもたくさんいて、いびつでした。特に僕の同期は、協調性に欠けてる自分勝手な人が多かった。僕もそう思ってたし、グループで強制的に創作することになって、みんなうまくやらないんです。でも、本当に面白かったんです。うまくいかなかったも一緒にいられるし、むかつくことも含めて友だちだったし。みんなアーティストだったから、お互い違うことや、不器用に生きられないことに

対して寛容だったんですね。毎日お酒を飲む人。ずっとトレーニングしてる人、絶対2時間遅刻する人もいる。

西 そういふ社会だったんで、みんな違ってみたいなというか、みんなクソだけど、一緒にいて事故にならないうってスタンスなんです。

西 バラバラだからこそ、一つの壊れないまとまりがあるわけだね。

山 信頼関係がありつつ、個人、自分と他者の分化みたいなものがうながされる2年間でした。

西 それは、今の糧に。そうすね。日本人は過剰に適応し過ぎる、節操がない話をしたんですけど、自分がそうだとLidoで強く感じました。けど、適応し過ぎなくていい勇気を持ち帰って今、自分と向き合ってます。

西 なるほど。そういう意味では、非常に大きなステップだった。

山 そうなんです。でも、創作において合わせるのも一つのやり方だし、日本人は特に得意だと思いますけどね。ながめくらしつが面白かったのは、適応能力が本当に高いジャグラーが集まって、チームワーク抜群の作品を創っていたことです。フランスでは、どんなに似たような思想を持っている人と組んでも、適応ができなくて面白くなかったんです。日本で生活しようって思ったのは、その適応の面白さを楽しんで創作に挑むのもありだと感じたからです。

西 佑理君が東北に移住してから、特にヘアやソロの創作が増えた印象を受けたんですけど。

山 そうすね。集団創作への期待や興味があったんですけど、理由はそれ



自分の今、性に合ったものを自分なりに考えて作ったので、誰かの何かの栄養になればと思っています。

西 インタビューありがとうございます。

聞き手: Shall We Juggle? 編集部 西野順一(まゆ)

・こぼれ話

西 まゆこさんはどうですか?

まゆこ(以下、ま) そうすね。私は、ジャグリング界の技開発の流れと、自分のやりたい方向性が合わなくてつらかったんですけど、別にいいなって思って。(号泣)

山 あああ。良かった。なんか、泣けるね。いきなり響いてる。

山 いんだよ。頑張っちゃって。

山 とんでもない。そんなにいい話したかなと思っ(笑)。

西 これまでの経験の集まりが人を救うんだね。

山 救うのかな。これから生きてく上で何かヒントになればいいんですけどね。自分勝手にやっってください。



自分は今、いろんな軸を持って、引き出しを増やして選べる状態にしています。芸歴は15年ぐらいなので、まだまだ新人ですし、引き出しが少ないと、



絶対じじいになったときにたれ死ぬから(笑)。かつては、一個軸を決めて突き進む、すごい猪突猛進的なスタイルを取ってたんですけど、それだと事故が起きるので、自分なりに防衛策として実践してる認識です。不安でもありません。

西 確かにね。そうした経験が、今回のJJFのソロにも反映されていますか。

山 そう思います。

西 インプロの動画で、動きの無理がない感じがすごく伝わってきました。

山 そうですね。無理のないことが大事だと思っています。性に合わないものは合わないんだからやめてしまいたいな

さというののが、最近の掛け言葉です。特に自分のソロ制作では、どれが本当に性に合ってるか見定めるようにしています。ジャグリングの即興って、全然うまくいかないんです。音楽の即興は、ミスも要素として生かせるのだけれど、インプロは、ジャグリングは滑った……全部伝わるんです。それに對する心の揺れも伝わるから、即興でやるって無茶な試みなんですけど、絶対できるって思い込んで、人と少し上

手になった。ジャグリングの即興に関しては、ステファン・シングさんやKOMEEさんたちとの交流をきっかけに研究して、10年です。自分ではめっちゃへたくそだと思ってる。その中で、テクニクも見つけ始めていて、最近はずいぶんシヨップも開いてます。

西 最近の即興を見てると……なんか、丸い。でも、もつともつと丸くならないという気持ちはあります。今はまだ、学ぶことがたくさんあるなっていう状態です。

西 ジャグリングの外側からのアプローチって少ないし。

山 そう。なので、風穴をたくさん作っていききたいです。いろんな人とのクリエーションもキープしつつ、自分のソロの演目を作ったりしてます。

西 20年ぐらい前から、ジャグリング界の裾野を広げたいっていうんな人がずっと思ってるって、ジャグリングをする層は広まっただけど、横の広まり自体はそれほどないから、それを広げていく活動をしてるんです。

山 そうです。じじいになるまでやっ

ていかなないといけない。昨日問題だなと思っしたのは、20代前半の若いジャグラーが、自分を含めたアラサーの人たちに対して「大御所」とか言い出すんです。まだペーペーですよ(笑)。日本のジャグリング界には、仙人というか、年齢を重ねても第一線で活動してるプレイヤーがいなくて感じたので、いかに無理なく、じじいになるまで生き延びるかは見据えています。

西 JJFのステージでどういうことを伝えたいですか。

山 一つは、即興に動いているように見える振り付けみたいなものを志しました。即興をやるのに慣れ過ぎると、振り付けを作るのがすごいへたくそになるんです。思考回路が全然違うので、自分にムチを打って取り組みました。もう一つは、振り付けという不自由な世界で自分勝手を実現するっていう、矛盾したことをやっています。楽しんでもらうのと同時に、皆さんどうぞ眠ってくださいって演目でもあるので。

山 いいです。観てほしいけど、観なくてもそこにあるってものを作ったので。こういう反応になるかは、自分の中でも未知数なんですけど。アンビエントジャグリング。

西 じゃあ、お客さんが3分の1ぐらい寝たら成功かな。

山 つまんなかったって言う声が30人ぐらい聞いたら、正解かもしれない。





## JJF2021 ゲストインタビュー ケントカイト

(JJF2021Webサイトより引用)

ジャグリング歴およそ15年。日本で少数派のクラブパッシングを得意とする大阪の兄弟ジャグラー。ケントが幼稚園のクリスマス会で先生からひよこのお手玉をもらったことがきっかけでジャグリングを始める。周囲の人たちにジャグリングを教わりながら、小学4年生と小学2年生で始めて大会に出場する。2012年、JJFチャンピオンシップのチーム部門に出場し、優勝。しかし、本番当日の練習時間中にジャンプを読んでいたところを親に見つかり説教を受ける。同年IJAのチーム部門にも出場。3年後の2015年にも、IJAに出場しチーム部門において、念願の優勝。現在、個人で力を技術を磨きつつ、クラブパッシングのナンバーズに挑戦中。

まず、JJFのゲストとしてお声掛けされた時の感想をお願いします。  
**健人（以下、健）** いやもう、ただ驚きが。ケントカイトとして最後に演技したのが結構前だったので、急にJJFのゲストステージに出ませんかってお声が掛かったのは、ただびっくりして。ただ、なかなかケントカイトとしてやることもないので、せっかくなので今回受けさせていただきました。

**海（以下、海）** チャンピオンシップ（以下、CS）でもそうですし、今までは結構選手として出ることをずっとやってたので、ゲストステージでお声が掛かったときは、信じられないくらい嬉しかったですし、ぜひ受けたいっていうことで、受けさせていただきました。  
**西野（以下、西）** いや、大人になつたね。今、幾つになつたんですか。

**健** 自分が21です。今度22になります。  
**海** 19です。

**西** 最初にジャグリングを始めたときのことって覚えてますか。

**健** きっかけは自分が幼稚園の頃のクリスマス会で、幼稚園の先生がサンタさんの格好をして来て、プレゼントにもらったヒヨコのお手玉です。そこから主にお父さんが始めて、面白いつことで自分たちも教えてもらうようになりしました。それから小学校のときに大学のサークルとか、いろいろ練習会に参加させてもらって。そこからどんどん続いて、気が付いたら15年間くらいになっちゃっていった感じです。なので、そのヒヨコのお手玉がきっかけになっています。

**西** お父さんは以前からジャグリングを始めていたわけではなくて、健に始めていたわけではなくて、本当にただの会社員です。ヒヨコのお手玉がきっかけでちよこちよこ調べるようになって、遊び感覚で続けたのが、そのまま続いてこまできました。  
**西** 昔のShairi We Juggleの記録からJJF2008、2009の写真を、ちよこちよこ引張り出してきてなんですけど、背中だけとお父さんと一緒に写っています。このときで、もうすでに5、6年ジャグリングをやっていたことになるのかな。

**健** それくらいになります。本当に遊びで始めた感じなんです、全然うまくはなかったんですけど。JJF2008 in神戸で初めて参加して、ただ人が多いなあくらいにしか、思ってた気がしますが。  
**海** お父さんがJJFっていうものを見つけて、多分連れてかれたみたいな感じだったと思います。今でも結構人見知りなんですけど、この時もそう



で、人が多くてずっと端っこで座っていたイメージがあります。

**西** いきなり大人がぞろぞろジャグリングしている所に行くと、やっぱりいろいろびっくりですね。本格的にジャグリングをやるようになって始めたのはどのあたりからですか。

**健** 自分は、しっかりジャグリングやるようになってからは、一つのことをひたすらやり続けるっていうのは結構好きです。小学4年生5年生くらいで、初め5クラブを練習して。でも、できなくて1年間くらい間を置いてたんです。それから徐々にやってみると、そこから5クラブをひたすら、中1まで続けるのをやっています。そこから次は7クラブがちょっと面白いなと思って、ざりざり中学1年生のときに初めて成功するまで7クラブをひたすらやっています。中学3年間も、ずっと7クラブばかりやって、みたいな感じなんです。基本的には、一つのことをひたすら続けてを自分は繰り返しました。大体、中学のときからぐらいですかね。ジャグリングをしっかりと、7クラブばかりです。

**海** 最初は結構、大道芸とかでやってたことの方が多かったと思います。初めてちゃんとしたジャグリングの大会に出たのが、JJF2012のチーム部門で出たCSだと思っんですけど、多分、本当にジャグリングをしつかりやるうと思っただけはCSに出場したのがきっかけですかね。

**健** 出場自体が、結構お父さんがばんばん勝手に決めて、気が付いたら、この舞台立っているみたいな感じだったんです。当時中学1年生と小学5年生だったんですけど、CSっていう大

きさも、そのときあんまり分かってなくて。大道芸のお仕事とかをいたたいでいたんで、大体その感覚でいて。なんでCS出る当日も、練習しないでジャンプばかり読んでいて、それを親に見つかって怒られて、その後練習しました。何とか優勝はさせてもらったんですけど、ジャグリングをしつかりやるうというよりは、当時のCS自体は、結構お父さん主体でやっていたのはあります。

**まゆこ（以下、ま）** 初めからジャグリングがきっかけでやっていたわけではなく、CSに出て、JJFを知って、また練習したって感じなんですか。  
**健** そうです、本当にそんな感じですね。

**海** JJF2012のときにCS出ましたけど、多分ほとんど緊張せずにやっています。今とかだったら逆にめっちゃ緊張してやるんですけど、子どもだからどうか分かんないですけど、CSの舞台もほとんど気楽にやっていた記憶があります。

**健** 自分は、結構観客とか人多かったです。さすがにちょっと本番は緊張しました。それでも、今ほどでは全然なかったですね。

**西** 本人たちがJJF2012でCS出てから、そこでジャグリングって踏み出した感じと聞いて、内心びっくりしました。その後はジャグリングに対する気持ちや姿勢はどうですか。  
**海** チームですつとやっていたんですけど、僕が中学ぐらいから個人練のほうに結構力を入れてやってきました。中1とかでは、個人の大会に出ていました。それからほとんど、あんまりパッシングはやらずに、個人練あきたらパッ



シングみたいなイメージでちよこちよこやっていて。ずっと僕が中学、高校は、結構個人のほうに力を入れていた感じですね。最近になってまたゲストの声掛かったんで、チームやるかみたいな感じでパッシングをまた再開した感じですね。  
**西** ケントカイトでパッシングやるのは、最近あまりやってなかったんですけど、最近はずっと考えています。  
**健** そうですね。IJAに出た高2がピークです。パッシングは5年前くらいに高校2年生の頃にIJAがあったので、そのときが多分一番力を入れていました。IJAで金賞を取った後にやり切った感あったんで、そこから個人に練習の重点を置いたのはあります。

**西** 2人とも今はまだ学生ですけど、これから先のジャグリングとの関わりみたいなのは、どんなふう考えていますか。  
**健** 自分は普通に就職して社会人として働くようになるので、趣味でちよこちよこ続けられたらいいかなと思います。

**西** お二人の思う、これがケントカイトっていうのは。  
**海** やっぱナランバーズかな。  
**健** ひたすら、もう何本投げんやっと思いついて見たいです。

**ま** パッシングで、ソコと違って難しいのはどういふところですか。  
**健** けんかですかね。（笑）  
**ま** けんかか！（笑）

**健** やっぱ、うまくいかないことって多いんですよ。最初初めてやる技とかだと特に。結構、今でもやるんですけど、初めてやる技ってやっぱ落すと

じゃないですか。落とすと、大体相手のせいにするとかが多くなってきます。ですよ。だんだん落とすのが回数増えてくる。そしたら、わああ言いながらけんかしたりして、チームでやってくる結局そのモチベーションを結構維持するのが大変ですね。兄弟だと距離が近い分、けんかすることも多いんです。

**海** 仲直りね、まず。  
**健** 仲直りはまだ早いですけど。モチベーションとけんかと、技ができるまでがなかなか、やっぱ大変ですね。  
**海** 大体、相手が落とすと、おまえ何やってんねん、とか。（笑）

**健** 最初はいいんですけど、だんだん険悪になってくるんですけど、険悪になつたらなかなか立て直すのが大変です。  
**海** 今のぐらいいやったら取れるやろ、みたいなことを結構言い合っているか、お互いちょっと機嫌が悪いみたいな状態で練習したりするんです。  
**西** パッシングあるあるですね。（笑）

**健・海** あるある。（笑）  
**西** パッシングといえはね。日本は二大巨頭でケントカイト、桔梗ブラザーズみたいな感じがあったと思うんですけど、その中でもやっぱりナランバーズでやっている人たちに、聞いてみたいんですけど。

**ま** 体壊したりしないんですか。  
**健** 毎日練習しているわけじゃなくて、週に何回か体育館借りて、その時に練習したりするんで、体壊すとかはあんまりないですね。突き指とか爪割れたりくらいはありますけど、がつつ



スやったりします。  
**海** さっきも言ったんですけど、パッシングやっていて次、個人に力入れてまたパッシングに戻ったんですけど、2人とも個人練の時期の間に、お互いそれなりにうまくなったんで、次パッシング入ったときに結構やりやすく、その時期があったことは、意外とよかったのかなって思ったりします。

**西** 健人君がこれから先就職してっていう話になったけれど、海人君はまだ2回生で、将来はどうしたいっていうのは考えていますか。  
**海** どうなんですかね。多分、パフォーマンスとかになることはないのかなと思います。やるとしてもずっと2人でやってきたんで、1人でやることは多分ないです。普通に就職ですね。多分ジャグリングはやると思うんですけど、大学院に行つたとしても本気でやるのもあと数年ですね。

**西** 学生のうちにやっておこうっていう感じですね。正直、ちょっと残念なところはあるかなと思うんだけど、それぞれ人の道だし。2003年にジャグリングのJ J Fのゲストに来たウオヴァ&オルガの彼らもパッシングでJJAに出てすこかったんだけど、すばつとやめてしまつて、お兄さんのウオヴァ氏は数学系の大学出て普通にプログラマーで働いてたりするので、いろんな道があるんですよ。色々なジャグラーの名前出たんですけど、昔から今にかけて目標とか尊敬しているジャグラーっていうのは、どんな人たちですか。  
**海** やっぱパッシングをやったんで、すつと栞梗さんたちは尊敬する先輩になります。いろいろ教えてもらうこと

もありましたし、栞梗ブラザーズさんにはよくお世話になりました。  
**健** もちろん栞梗さんも尊敬していませんし、自分個人としては一番尊敬しているのは、たくぞーさんです。自分はたくぞーさんの人間性がすごく好きで、たくぞーさんはめつちや好かれるじゃないですか。周りにすごい人が寄ってくるっていうのを、結構ちっちゃい頃から見ていて、J J Fのルーティンとか好きなんです。誰よりも楽しそうにジャグリングをするっていう、あの姿がすごく好きで。なので自分個人としてはたくぞーさんがすごい、めちやめちや尊敬しています。今年、チーム部門に「赤いきつねと緑のたぬき」として、たくぞーさんがCSに出演しているのを知らなかったんで、びっくりして。たくぞーさんのルーティン見るのが好きなんです嬉しかった。あの楽しそうなルーティンがすごくいいなって思っています。

**西** CSの感想もぜひ。  
**海** 本日に皆さんうまくてレベル高過ぎですよ。特に高橋優弘君と鳥居岳史君の2人はやばかったです。安定度もそうだし、やばいって思いますがすつと見ていました。文字通り、語彙力全然なくなりますね。やばい、しか出てこないんですから。  
**健** 優弘君は断トツで、怖れというか崇める対象になってくるなって思いながら見ていて、ああ！と。岳史君は安定度すごいですね。難易度もさることながら、あそこまでのルーティン、最後以外はノードロっていうのが本場にすごいなあって。あと、個人的には吾郷天星君がすごいと思いました。岳史君と、小学生の頃からあの子たち



は知っていて、結構仲良くさせてもらってたんで。おこがましいんですけど、勝手にお兄ちゃんみたい気持ちになりながら、CSに立っている姿を見ると、すごく成長を感じますね。  
**西** なるほど、もうお兄ちゃんの気持ちで。  
**健** お兄ちゃんに交えてもう、本当に失礼かもしれないけど。(笑)  
**海** 勝手にやけど。(笑)

**ま** 私もパッシングに挑戦したことがあるんですけど、全然うまくてできなくて。ケントカイトのお二人がどれだけ練習してるんだと思つて、すごく尊敬しました。  
**健・海** いやいや。

**健** 個人的には、いろんな人にクラブやってほしいなと思つて。クラブジャグラー少ないじゃないですか。少ないってことは、パッシングする人もほとんどなくて。やっぱそのパッシングジャグラー自体が増えてほしいな

と個人的に思っています。  
**ま** 実際にやってみて、クラブは、他の道具よりも難しいなと思いました。そこからさらにパッシングやりたいってなると、なかなかやる人も少ないなって。  
**健** 相手も必要ですもんね、パッシングにはね。  
**ま** そうなんですよ。まず相手を見つけないで大変だし。もっと大人数でパッシングやりたい場合は上手い人をたくさん集めないといけないので、そういう障壁はすごく大きいなと思います。

**健** 個人的には、自分はいろんな人とパッシングするのが好きなんで、今はコロナで結構できないんですけど、機会があったらすごくいいとは思っています。なんでJ J Fとかワークショップとか、パッシング開いてほしいなって勝手に思っています。  
**西** 2人ともパッシングを中心にしたクラブですけど、なんでクラブだったんだらうと思つたんですけど。  
**健** 多分きっかけはお父さんですね。お父さんがなんでジャグリング始めたかっていうと、親子の野球のキャッチボールの感覚で、最初はジャグリングをパッシングやりたみたいなこと思つていたらいいんですよ。それで、ボールをやった後にクラブ覚え始めて、主に最初、自分とお父さんがパッシングをやるようになって。その後、ケントカイトやるようになって。ただ、8本あたりからお父さんがついてこられなくなったんで、ケントカイトとしてメインでやるようになって。  
**ま** 面白いな、キャッチボールじゃなくてクラブパスで交流するとか。それ

でこんな成長する。  
**西** ね、すごい。クラブはさっき言ったとおり難しいっていうか、痛いよね。  
**海** はい、痛い。  
**健** 最初はそうですね。  
**西** 最初、あざはできるし突き指はするし、なかなか。さっき、日本でクラブが少ないっていう話があったけど、確かにそのとおりだったんだけど、でも2人のおかげで最近結構増えてきて。クラブジャグラーもだんだん、気軽にもうちょっとパッシングができるように、人が増えてきてきつつかあるかなとは思っています。  
**海** それはうれいしですね。  
**西** 社会人になつても、ぜひJ J Fとかで、むしろワークショップとか開いてくださいよ。  
**健** いやあ、呼んでください。呼んでくれたら、自分から教えるのは下手なんです、ナンバーズの練習相手として使ってくれたらうれいしなと。  
**ま** 練習相手になってくれたらうれいって思う人いると思います。  
**健** 本当ですか。パッシングの8本とかのコツとかなら、ある程度、多分教えることはできるかなって。  
**西** でも、落とすとクラブ投げつけられちゃうんでしょ？  
**健** ちょっと怒るかもしれん。いや、全然。(笑)  
**西** でも、できる人がいなきゃ全然練習にならないので、それはすごくありがたいことだ。さっき、パッシング難しいって言って実際難しい面もあるんだけど、逆もあって、相手が上手だと自分の実力以上に投げられたりするところもあるんで、すごく面白い。  
**ま** 私もパッシングをやった時に周り



のメンバーがうまかつたので、すごく助けられました。変なパスを投げても相手がリカバリーしてくれて、楽しかったですね。  
**健** 結構パッシングって、相手に投げると自分の左手でセルフに投げられるって、二つのことを同時にできないと駄目じゃないですか。なんで、一回うまい人とやってくると、最初は投げを意識したり、セルフだけ意識したりとか、一つのことずつとできるんで、そういう練習方法はすごくいいかなとは思っています。それで一つずつできるようになってから、次はお互い初心者同士でやつて、どんどん成長していくっていうのも、成長過程としては、すごくいいのかなとは思っています。自分は練習台として、むしろ使つてほしい側なんです。  
**海** それぐらいかな、貢献できること。  
**西** ケントカイトの集大成っていうふうに、先ほどあったんですが、J J Fステージをみたり、S W Jを読んだり

する人に、何か伝えたいことがあればぜひ。  
**健** 伝えたいこと、何やろう。  
**海** ぜひ、クラブとパッシングやってくださいよ。  
**健** そうですね。それが一番だと思います。ぜひ、始めるきっかけとかに思ってくれば、うれいかなとは思っています。  
**海** ぜひパッシングを知ることになってもらえればと思います。やっぱり、決まったときは2人で喜びを分かち合えるんで、それもパッシングのいいところですね。  
**西** まだこの写真のJ J F 2008、2009の頃は、そんなに本気じゃなかったみたいなのがさっき聞けて、それはすごくびっくりしました。  
**海** 遊び感覚やったんじゃないかなって思っています。  
**ま** それはちょっと意外でした。すごい最初からともストイックにやっていたのかなって思っていました。  
**健** 全然。ただ趣味で続けていたのが、15年経つてこうなっていただけなんです。  
**ま** その15年続けるっていうのはすごいなあって思いますね。  
**健** その辺は、親の影響もちょっとありますね。やっぱ親と一緒に、家族で続けていたっていうのもあるんで。自分とかはなんでも投げ出しがちで、いろんな習いごとやっていたんですけど、2人で一緒に最初入るんですけど、大体自分が嫌になって抜けてっていうのが多かったんで。そういう意味ではジャグリングは趣味で15年間だから結構続いたのかなとは思っています。  
**西** 他のことより続いた違いは何でしょう。

一緒にやる人間ですかね。あくまで習いごとって、どっちかっていうと習いごととかに友達とかはできるんですけど、あくまでやるのは個人なんです。けどジャグリング自体をお父さんとか家族と一緒に引つ張つてくれたのもあって。サークルとかでも教えてもらって。そういうこの違いな気がします。やっぱ自分主体でやるよりは、引つ張つてもらってやることが多かつたんで助けてもらいながら続けてこられたっていうのはあります。  
**西** そういう見方で行くと、J J Fっていうのはどうですか。  
**健** すごくいい場所、本当にいい交流会だと思つています。やっぱりジャグリングを周りの人は知るきっかけになるし、コミュニケーションが広がっていくんで。それこそ一緒にやる人が広がれば、言い方悪いんですけど、辞めづらくなるじゃないですか、一緒にやっていたら。むしろ一緒にやつて、どんどん高めあつてつてのいうのはできるんで。コミュニケーションどんどん広がることは、大事ななつていうのは思っています。  
**海** 本場にいい場所です。  
**健** 可能ならば、もうちょっと交流会自体を増やせたらいいなとは思っていますけど。なかなか、1年に1回パーンと大きくやるのもいいんですけど。縮小開催でもいいんで練習会とかあれば、すごいジャグリング楽しいかなとは思つたりします。気軽にハードルの低い、それこそそのサークル同士が集まつた練習会みたいな、合同練習会というか、できたら楽しいなと。すごいままさらすんですけどね。今からすると。



聞き手: Shall We Juggle? 編集部  
 西野順二 まゆこ  
**西** パッシングとクラブに対する思いがよく伝わりました。ありがとうございます。  
**健** できればいいですね。ぜひ社会人になつても、がつがつ続けてほしいなって。結構、就職してからもそれこそ、たくぞーさんみたいに続けている人もいます。  
**健** そうですね、これからできたら。可能な限り、続けさせてもらいます。たくぞーさんを目指して。  
**西** ぜひこれからも、日本のクラブとクラブパッシングを広めるのに活躍していただければと思います。  
**健** できたら。貢献できたらと思います。  
**海** 貢献できたらいいですけど頑張ります。  
**西** パッシングとクラブに対する思いがよく伝わりました。ありがとうございます。

# 空転軌道



プロジャグラー・小林智裕を中心に2014年結成。全メンバーが国内外で多くの賞歴を持つジャグラーであり、その高いスキルを活かした作品づくりを行う。多彩なフォーメーションと緻密な構成に支えられた集団演目、さらに世界で唯一のハンドベルとジャグリングの融合パフォーマンスは会場を温かい空気に包み込む。「大道芸ワールドカップin静岡」など国内の代表的なパフォーマンスイベントへの出演、さらにベルギー・フランス・韓国など海外でも活動を行う。(JJF2021Webサイトより引用)

**まゆこ(以下、ま)** まずはJJF2021のゲストとしてお声掛けされた際はいかがでしたか。

**小林(以下、小)** じゃあ僕からいきます。お声掛けいただいたのはありがたいです。学生の時からJJFに参加していて、チャンピオンシップへの出場や、最近は実行委員など、毎年何かしらの形で関わっていました。あとはジャグラーがどういう空気か、ゲストステージを見るのかも何となく分かっていたので、プレッシャーもあつつつ、純粋に楽しみました。

**結城(以下、結)** 自分のJJFの関わりとしては、2012年から16年ぐらいまで5年間チャンピオンシップの決勝審査員をやっていました。ステージに立つのは本当に久々なので、シンブルに緊張のほうが大きかったです。JJFの雰囲気も知ってはいるけど、最近はわからないし。やっぱり自分もジャグリングを始めた頃に思い出の大会なので、とにかく今回は緊張しました。新しいこともいろいろあったのも含めて緊張がありましたね。

**野中(以下、野)** 僕は、JJFに初めて参加したのが2006年で、それからだいたい参加していて、2013年にチャンピオンシップ出た時はすごく緊張して、ステージからお客さんを見て演技することを初めて経験しました。それから8年経って、チャンピオンシップに出た頃は、ゲストステージに自分が出ることは考えたこともなかったのですが、呼んでいただけですごくうれしかったです。8年ぶりにJJFのステージに立つことはものすごく緊張しましたが、ジャグラーの皆さんの前で演技できたのがとても楽しかったです。

**ま** それでは、皆さんのジャグリングを始めたきっかけについて教えてください。

**小** 興味はずっとあったんですが、実際にジャグリングを自分でやったのは高校生ぐらいの時です。学校の先輩がテニスボールでやり方を教えてくれたので、家に持ち帰って練習していました。それでカスケードを得意げに友達に披露していたら「4個でできないの？」って言われたんですけど、ファウンテンの概念がなくてやり方が分かりませんでした。インターネットで「ジャグリング」で検索したら、池田洋介さんがJuggling Donuts(※1)のホームページに作っていたジャグリング教本があったので、ファウンテン、ミルズメス、5ボールの練習法が書いてあったので、1人で練習を始めたんです。

**高3の時、5ボールがちょっとできるようなって、志望校が京都大学だったので、合格したらJuggling Donutsに行ってみようと思いましたが、それで無事合格して今に至るという感じです。**

**結** 自分は、ジャグリングという概念にはつきり出会ったのは2000年なんですけど、2、3年さかのぼって、バンドイのハイパーヨーヨーやハイパーディアプロの世代に当たりますね。小学生の頃から知り合いのRADFAC TORの社長の矢部亮くんが一足先になんでもそういうモノに手を付ける人で、ディアプロ、そのあとボールをやっていた、自分もやってみようとなりました。2人で練習を3年ぐらいして、彼は東京に移って、自分は地元でパフォーマーの道に入りましたね。

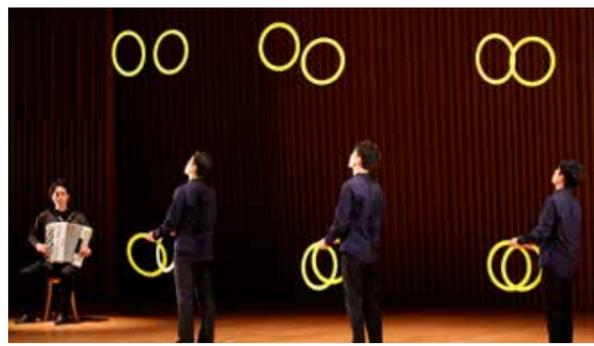
**野** 僕は、中学生の時、たまたまインターネットでヨーヨーの世界大会の動画を見て「すごいなー」と思ってヨーヨーを始めた。そこからヨーヨーと形が似ているディアプロが面白そうだなと思って、ジャグリングへ興味を持ち始めたのがきっかけです。地元が静岡県浜松市で、近場ということもあり大道芸ワールドカップに行った時にナランハさんが出店していたので、そこで初めてジャグリング道具を買いました。地元の浜松市のじゃくなぎ(※2)へお邪魔したり、インターネットで技の動画を見て練習したりして、ずーっと続けていますね。

**ま** プロのパフォーマーとして活動することを決めたいきっかけを教えてください。

**小** 僕は、最初は普通に就職するつもりだったんですけど、2005年、大学4年生の夏に就活が嫌になって「JJAに行こう」と思いました。そこでジャグラーを見て「就職したらこれを自由にできなくなるのか」と思うと、嫌だなと思って。続けるにはプロのジャグラーになるしかないと思い、本格的にプロを意識しました。

**結** 自分はきっかけとか全くそういうのがなくて。プロの意識がない小学生の頃から、矢部さんと一緒に地元のお祭りや児童館に招かれたり、路上に出て夜中に大道芸をやっていたりしたので……本当に意識せず、何となくこうなった感じです。

**野** 僕は、大学4年生の時に研究室に配属されて、周りに合わせて大学院も行くつもりだったんですけど、せっかくだったから自分でできない、自分を生かせることをやりたいなと思いま



した。それで考えた結果、ディアプロをやろうと思いました。

**ま** 次は、小林さんに空転軌道ができなかったお話を聞きたいです。

**小** ジャグリングのチームで作品をやっている環境を創りたいなと思っていました。それ以前にも自分でチームや公演を企画したんですが、あんまり長続きしなかったんで、継続的にやりたいと思いました。特にその頃は(野中)葵くんのような、自分より年下の人が出てきた時期で、そういうジャグリングをもっと発信して、自分もそこに混ざりたい気持ちがありました。2015年の公演「D.E.」(※3)では、葵くん含めて5人のジャグラーと始めました。その後、パフォーマーのフェスティバルや他の公演に出る中でメンバーも変遷を遂げて、今回はこの3人とアコーディオンの桐山さんになりました。この3人ってストレスなく稽古もできる関係かなと思います。

**ま** 以前から気になっていたのですが、空転軌道の名前の由来を教えてください。

**小** 当時、ジャグリングの団体の公演が流行っていたんですけど、例えば、ながめくらしつは、ひらがな。ピントクルはカタカナ。irus peopleはアルファベット。まだ、漢字が残っているなと思って、響きが良くて、ジャグリングを連想させる、検索に強い言葉から決めました。

**ま** すごく良い名前だと思っていました。

**小** ありがとうございます。自分で未だに、ちょっと気恥ずかしくなるときはありますけどね。

**西野(以下、西)** 野中さんが空転軌道へ参加したきっかけはなんですか。

**野** 誘われたのがきっかけです。自分を活かしていただける機会があればと感じて、面白そうだなと思って参加しました。

**小** 確か、飲み会の席で、近くにいたジャグラーに声をかけた気がするんですけど。その中の一人が「いい人いますよ」って葵くんを連れてきたんですけど、それまで葵くんの存在は動画で認識していましたが、ほぼ初対面でした。

**野** そうだったんだ。僕は静岡で小林さんを見て、一方的に知っていました。それで、現在までずっとつながっているのが面白い、響くところがあったんですね。

**ま** 今回のゲストステージはどういったことを意識して演技を作られたんですか。

**小** 大枠として、ジャグラーが見たことないもので、前日にチャンピオンシップを見た後でも楽しめるものやろうと思いました。

**野** それでは、現在までずっとつながっているのが面白い、響くところがあったんですね。

**ま** それでは、皆さんのジャグリングを始めたきっかけについて教えてください。

**小** 興味はずっとあったんですが、実際にジャグリングを自分でやったのは高校生ぐらいの時です。学校の先輩がテニスボールでやり方を教えてくれたので、家に持ち帰って練習していました。それでカスケードを得意げに友達に披露していたら「4個でできないの？」って言われたんですけど、ファウンテンの概念がなくてやり方が分かりませんでした。インターネットで「ジャグリング」で検索したら、池田洋介さんがJuggling Donuts(※1)のホームページに作っていたジャグリング教本があったので、ファウンテン、ミルズメス、5ボールの練習法が書いてあったので、1人で練習を始めたんです。

**高3の時、5ボールがちょっとできるようなって、志望校が京都大学だったので、合格したらJuggling Donutsに行ってみようと思いましたが、それで無事合格して今に至るという感じです。**

**結** 自分は、ジャグリングという概念にはつきり出会ったのは2000年なんですけど、2、3年さかのぼって、バンドイのハイパーヨーヨーやハイパーディアプロの世代に当たりますね。小学生の頃から知り合いのRADFAC TORの社長の矢部亮くんが一足先になんでもそういうモノに手を付ける人で、ディアプロ、そのあとボールをやっていた、自分もやってみようとなりました。2人で練習を3年ぐらいして、彼は東京に移って、自分は地元でパフォーマーの道に入りましたね。



※1 京都府を拠点とするジャグリングサークル。1998年発足。正式名称は「京都大道芸倶楽部Juggling Donuts」。https://juggling-donuts.org/  
 ※2 浜松市を拠点とするジャグリングサークル。正式名称は「浜松スポーツジャグリングサークル じゃくなぎ」。http://fine.tok2.com/home/ryuhan/hamajug/index.html  
 ※3 公演のトレーラー動画 https://youtu.be/AGoLbUqZqZc



した。これは出来そうと思っても、都合が生まれて出来ない、というのが多くて。技1個作るのにもすごい時間がかかる大変さがあつたなと思いますね。

**結** 5時間ぶっ続けて稽古して、最終的に20〜30秒しか動きが残らない、みたいな。

**野** 没になったものめっちゃめっちゃ多かったですね。面白かったけど大変だったなあって感じですね。

**ま** アコーディオンとのコラボレーションで、普段とは違う部分や、面白く感じたことはありますか。

**小** 普段の音源はリズムや尺が決まっているんですけど、今回はビートがはっきりしていない音楽なので、桐山さんと僕らで「このタイミングは気持ちいいからここで行こう」「これは先に行こう」という掛け合いがありました。

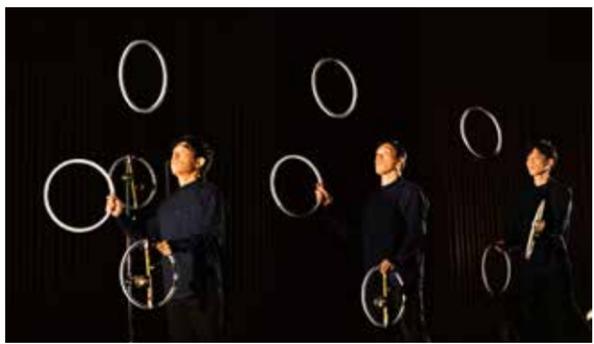
した。ジャグリングが上手い人でもベルリングが上手いわけではないので、難しいです。

**西** ベルリングの重さは具体的に何グラムですか。秘密でなければ。

**小** 500グラム前後です。最初は650グラムあって、多少ましになりました。普通のラーズリングは140グラムなので、なかなか重さかなとは思っています。今回は一人あたり最大4個投げています。

**西** 2人の4個のトスが組み合わさると、ドレミファソラシドになるところが印象に残りました。

**小** あそこは、葵くんが頑張っています。音の裏に合わせてキャッチすることが難しく、今のところ葵くんしかできないです。僕も練習しているんですけど、ドミンシのちょうど合間にレアラドって入れるところで、つられて音が重なったりします。ジャグリン



た。リハーサルや本番でそういった間も違ってくるわけで。それがライブ感になって、すごい緊張感や刺激があつて楽しかったです。

**結** この3人で長いこと空転軌道としてやっているんですが、やはりそれぞれの間や時間の流れ方があってですね。音源のパフォーマンスでも3人で計り合ってるっていう中に、ジャグリングと全く違う言語を持った桐山さんが入ることによって、1個要素が付け足されて、1人増えただけなのにものすごく複雑な関係になるんですね。

**野** 結構難しいですね、あそこは。ルーティンが楽譜のようになっていて、一度ミスすると全体が破綻してしまうって思っていますが、そのような時はどうするんでしょうか。

**小** もう、ミスしたら仕切り直すっていう感じになるんですが、最近ミスをした覚えがないですね。ジャグリング的に大変なことをやっているわけではないです。  
**西** さすがプロですね。  
**小** ベルリングで使用している曲は4、5年ずっと同じものなんですけど、JJF2006に出ていたジャグラーで、今は名古屋中心にバグパイプや手回しオルガンなどの活動をしているKoji Koji Monieくんにも作ってもらいました。彼に「メロディーはこの5本を中心にしてほしい」「同じ音が2回連続と技がやりづらいからなしで」みたいなリクエストをしました。今回の伴奏に関しては、桐山さんのアレンジに全部任せました。  
**西** ちなみに、曲名って付いていますか。  
**小** 曲名、未だにないんですよ。(笑)

**ま** 今後の活動の目標はありますか。  
**小** 目標がなかなか立てづらい状況ではありますが、空転軌道としては、今回桐山さんが入ってもらったように、色々な人と一緒にやる機会を増やしたいです。そして、幸いにも舞台や地方での劇場に呼んでいただける機会が増えてきたので、クオリティーを上げつつ、力を入れて色んなところでやって

複雑な作業だったと思いますね。野 複雑でした。合わせる人やモノが1人増えただけですけど、2倍以上に、3倍、4倍に緊張感が増すという。あつちもこつちも考えていることが多くて、楽しくも大変でもありという感じでしたね。聞いたことのないフレーズが来たときは面白さもありませんけど、どうアプローチするかも考えないといけないです。音源でやるのとは違う、ライブ感が何倍にもなっていたなと思います。

**ま** コロナ禍ということもあり、練習も大変だったと思うんですがいかがでしたか。  
**小** 物理的に体育館が使えないときもありましたね。よく高架下の屋外でも練習していて、朝から桐山さんと呼び出したりしていました。リングやベルリングのテクニック自体はそんなに新しくないんですが、労力的にはディアポロが大変だったと思います。

**結** リングもディアポロも、ちょっとした微風でも厳しかったです。ディアポロは特に初めてのことをしていたので、失敗が自分たちの実力不足のせい、風のせい、判断がつかないというストレスはありましたね。早く室内でやりたいと思っていました。  
**野** 屋外だと全然技が決まらなくて。「これ、本当にできるのかな」という流れも室内でやったら「あれ？めっちゃめっちゃ決まる」となりました。本番の環境は室内なので、屋外で調整することとは作る上でも練習する上でも大変でした。

**ま** コロナ禍で練習場所が全然ないですよ。  
**野** JJF直前は体育館使用の規制が

緩みとされていたんですけど、規制が厳しい時期は練習場所の確保が大変でした。  
**ま** ベルリングはどのような仕組みになっていますか。投げ順番など、練習が大変そうだと感じたのですが。  
**小** リングに楽器のハンドベルが取り付けられていて、取った瞬間に、その衝撃で音が鳴るといって、非常にシンプルな仕組みです。  
**ル** ルーティン的な仕組みを言うと、カスケードは、例えばドレミの音階で投げていると、ドレミドレミと鳴りますが、そこにサイトスワップの423を1回入れると、ドミレドミレと入れ替わります。あとは、滞空時間が1を一つの単位として投げているんですが、1拍後に鳴るように投げるのか、それとも2拍後か、楽譜に合わせて音が出る



いきたいと思います。  
**結** 今後に関しては、予定を立てようにも立てられない感じなので、地道に変わらざるを得ないことだと思います。  
**野** 僕は、今回ディアポロのヘア技など色々作る中で、まだまだ知らないことがいっぱいあって、可能性が見えそうなんです。なので、先はまだ見えないうですけど、地道にできていければなと思います。

**西** JJFに来た人も来ていない人も含めて、皆さんから伝えたいことがあるら一言ずつお願いします。  
**小** 他のゲストがすごくよかったなと思っています。ケントカイトが、こんなすごいことできるんだ。佑理くんは佑理くんらしいジャグリングを深掘りして。一方僕らは違う道具を使ったり、違うジャンルの人と絡んだ

りとか、チームでやったりとか、そういった広がりを提示できていれば嬉しいです。  
**今** 今回、三者三様で、僕のソロを含めて4演目全部バラエティーが違ったんで、ジャグリングは自由でいろいろやっていいことや、僭越ながら僕たちからポジティブなインパクトを受け取ってもらって、見てくれた人も自分のジャグリングに生かしてもらえれば嬉しいなという感じですね。  
**結** およそ今、小林さんが全体的に感じで言ったのではという気がします。(笑)  
**小** 乗っかるなよ。自分の言葉で言えよ。(笑)



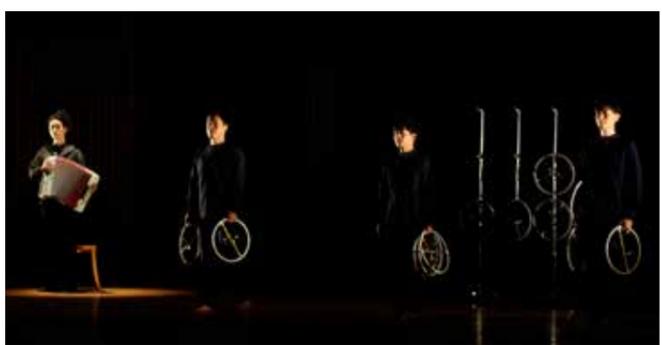
るようになっていく作業になりますね。3人やる場合はその滞空時間を正確にそろえないといけない。ちょっと高く投げると取る音が遅れて汚く聞こえ、早く取ると意図とは異なる聞こえ方になります。順番も間違っていると汚い音になるので、緻密ですね。本番はお互いの呼吸をはかりながらこなすので、複雑です。ただ、僕らの感想としてはもう同じルーティンで4年、5年やっているんで、ベルリングのパートが一番安心してできました。  
**結** ベルリングの難易度はそんなに高くないんですが、音楽を優先して動きが作られているので、覚えるまでが大変です。ジャグリングの感覚とは無関係に作られているので、本来ならば左手のほうなのに動かさないと、ここは脇に挟んで、とか。実際にやってみないと、単純な難易度では測れないですよ。

あとすごく重いんですね。長くやっていますし、慣れてきましたけど。葵くんは3本投げっぱなしなので、何ステータも続く後半大変そうですね。  
**野** 筋肉痛で、肩がパンパンになることもありますね。爪も割れたりしますし。考えること、やることも多くて、リングではない新しい道具という感じがします。キャッチするときも、ふわっとキャッチすると鳴らなかつたりします。ハンドベルなんです、衝撃を与えないと鳴らないんですよ。なので、キャッチの仕方や高さ、パスする時に相手が受け取る手の方向も考える必要があつて、間違えると相手も崩れてしまいます。こういった次の動きが決まってきたら、アドリブが効かない中でどうやっていくかの面白みもあります。

りとか、チームでやったりとか、そういった広がりを提示できていれば嬉しいです。  
**今** 今回、三者三様で、僕のソロを含めて4演目全部バラエティーが違ったんで、ジャグリングは自由でいろいろやっていいことや、僭越ながら僕たちからポジティブなインパクトを受け取ってもらって、見てくれた人も自分のジャグリングに生かしてもらえれば嬉しいなという感じですね。  
**結** およそ今、小林さんが全体的に感じで言ったのではという気がします。(笑)  
**小** 乗っかるなよ。自分の言葉で言えよ。(笑)

て、参加者としてもゲストとしてもすごく楽しかったです。  
ジャグリングは1人でもできますし、今はインターネットで交流もできます。みんなそれぞれのペースで、自分の技術を追求する人も、いろんな可能性を追求する人もいていいですし、交流の一つの手段としてなど、いろんなジャグリングとの関わり方があると思います。自分がゲストステージへ立つことで、人との交流が減ってしまつた中でも、みんなでジャグリングと関わりを持つことへ一役買えればうれい

りとか、チームでやったりとか、そういった広がりを提示できていれば嬉しいです。  
**今** 今回、三者三様で、僕のソロを含めて4演目全部バラエティーが違ったんで、ジャグリングは自由でいろいろやっていいことや、僭越ながら僕たちからポジティブなインパクトを受け取ってもらって、見てくれた人も自分のジャグリングに生かしてもらえれば嬉しいなという感じですね。  
**結** およそ今、小林さんが全体的に感じで言ったのではという気がします。(笑)  
**小** 乗っかるなよ。自分の言葉で言えよ。(笑)



聞き手：Shall We Juggler?編集部  
西野順一(まゆ)

## 理事会から

日本ジャグリング協会正会員の皆様  
役員選挙を10月24日(日)に行い、日  
本ジャグリング協会の今年度役員が決  
定しましたので、ここにお知らせしま  
す。

理事(6名) ※届出順

・浦和新  
・小野口貴仁  
・米屋遊  
・東山晴伸  
・後藤猛文  
・星野充宏

監事(1名)  
・松岡寿典…承認

※理事候補の吉永裕紀氏は、諸事情に  
より立候補の取り下げを行いました。

今後ともよろしく願っています。

### ●東山晴伸氏

この度、日本ジャグリング芸術協会  
理事に立候補させて頂きました東山晴  
伸と申します。

正直申し上げます。私はジャグリング  
経験はありません。  
ですが、ダンサーとして2010年、  
2011年、2013年、2017年  
に大阪北区民ホールにて開催されまし  
た「WJD」にてゲストパフォーマー  
として出演させて頂きました。

このご時世、ジャグリングイベントも  
対面では厳しいと思います。  
私のやりたい事は「若手ジャグリング  
パフォーマー様一人一人と対話し、  
20年間ダンスを続けて来た経験を通し、  
ジャグリングパフォーマーと会話し、  
「一緒に頑張ろう!」と伝えていきたく  
いです。

そこで奮起してくれたジャグリングパ  
フォーマー様の後押しをしたいと思います。  
です。

宜しくお願いします!

### ●後藤 猛文氏

皆さんこんにちはは昨年理事として  
活動させて頂いている後藤猛文で  
す。

【所信】 原文ママ

### ●浦和新氏

皆様こんにちは。浦和新です。本年度  
も理事への立候補をさせて頂きまし  
す。

今まで担当していたウェブ・著作権・  
検定・広報等の業務は引き続き担当さ  
せていただきますと思います。  
私が理事に就任して3年が経ちました  
が現理事の中では米屋理事と同じく最  
長となっております。

そんなこともあり属人化が進んでいた  
部門は様々な対応が難しくなっており  
ました。これらに関しての対応を現在  
進めており、来年度はこちらを最優先  
に進めていきたいと思います。

また、1999年に設立された日本  
ジャグリング協会は2021年の今、  
なぜ存在するのか、何ができるのか等  
の根本を改めて考え、未来へつなげて  
いきたいと思います。

来期の役員も皆協力してJJFはもち  
ろんジャグリング界の発展に努めてい  
きたいと思っております。

### ●小野口貴仁氏

この度日本ジャグリング協会理事に立  
候補いたしました小野口です。

立候補にあたって、まず簡単に私の経  
歴について紹介させていただきます。  
2016年からJJFチャンピオン  
シップステージ(CS)事務局でCS  
の運営に携わっています。2019年  
にはCS事務局長としてCSの運営を

現在は財務担当理事とジャグリング普  
及委員会の活動をさせて頂いています

ここ数年間コロナウィルスや台風で  
ジャグリングフェスティバルが通常開  
催されておられません  
今年もチャンピオンシップとゲストス  
テージのみになりました  
来年度こそはみんなで集まってジャグ  
リングを楽しむ事ができるよう願って  
おります。

ジャグリング普及委員会の方ですがこ  
ちらもコロナ禍の影響受け対面で教え  
ることが許されなことが多く  
思うように進めていませんが引き続き  
ジャグリングの普及、発展のために活  
動を行っていきたく考えています

僕が理事になったタイミングで理事の  
入れ替わりや事務局長の引き継ぎな  
どがあり、勝手が解らないまま過ぎて  
行った1年でした、たくさんの方にこ  
迷惑をおかけしました  
ご指導、ご協力いただいたことに感謝  
し飛躍できるよう頑張っていきたいと  
考えています

今後、信頼される安定した協会運営を  
行っていけるよう尽力していきたいと  
思います!  
今後ともよろしく願っています

### ●星野 充宏氏

こんにちは、星野充宏と申します。  
本年度理事への立候補は三回目となり

サポートしてきました。

2020年にCS担当理事になり、  
開催要項の策定など、CSの開催  
に向け準備をしておりましたが、  
COVID-19のため、残念ながら開  
催を見送りました。

しかし、協会初の完全オンライン  
ジャグリングコンペティション  
「Japan Juggling  
Online Stage」を開催しま  
した。

2021年も理事としてCSに関わ  
り、開催に向けて準備を進めている最  
中です。(10月2日現在)  
そして、これから私が行っていきたく  
ことを3点挙げさせていただきます。

1 大会の安定的開催  
COVID-19の状況を鑑みながら  
CSの開催を続けていきます。

2 開催要項の見直し  
開催要項を見直し、改善を図ってい  
きます。

3 審査委員候補の公募の継続  
審査委員候補の推薦および公募を行う  
予定です。皆様のご応募お待ちしております。  
ります。

2022年も盛り上がるCSを目指し  
ていきたいと思います。  
みなさまま何卒よろしく願っています。

ます。

昨年度の取組として以下となります。  
・JJF理事としてJJF2020の  
オンラインオフライン会場での開催  
・Jaggle2020制作  
・寄付金事業設立  
また、現在JJF2021の実現のた  
めに活動しております。

今後の取り組み予定として以下を考え  
ております。  
・JJF担当理事として、JJF実  
行委員会の立て直し、また安定的な  
JJFの実現のためにスタッフ体制の  
見直し

できることを着実に、また日本ジャグ  
リング協会の良さを伸ばしJJF実行  
委員会の活動を推進していけるような  
土台作りを目指して行ければと思いま  
す。  
以上を所信表明と致します。

### ●松岡 寿典氏

平素お世話になります。おかげさまで  
日本ジャグリング協会の監事を8年間  
務めさせて頂きました。9年目も  
監事として立候補します。

この所信を書いている現在はまだ  
JJF2021の開催前ですが、昨年  
に続き新型コロナウィルス蔓延の影響  
を考慮しながらJJFの運営に心血を  
注いでいたという実行委員の皆

### ●米屋遊氏

2019年度に続き、2020年度も  
コロナ禍は収まらず、昨年同様SWJ  
の編集が遅れておりますことをお詫び  
申し上げます。

編集作業は最終チェックの段階ですの  
で、間もなくご覧になれると思われま  
す。  
最新号より、SWJのPDFデータに  
よる発信を行いますので、多くの方々  
に見ていただきたいです。

2021年度も昨年度同様以下のこと  
に取り組み所存です。

1 日本ジャグリング協会の歩みをまと  
め、残すこと

JJF2021特集号をはじめ、  
SWJのバックナンバーについても修  
正が完了した号からPDF化し、日本  
ジャグリング協会のwebページに  
UPしております。こちらも少しずつ  
ではありますが、継続して行ってい  
きます。

前年度同様に、SWJ編集部で撮影し  
た過去の映像資料の整理、編集に関し  
て、今後の理事会で提案し、対処でき  
るよう働きかける所存です。

2 SWJ編集部員の拡充と編集システ  
ムの再構築

2020年度もコロナ禍により、編集  
予定が大幅に乱れました。今後も継続  
して編集部員の拡充とこれからの生活  
様式に沿った編集システムの再構築を  
進めます。

様、支えていただいている会員の皆様  
ありがとうございます。

昨年の選挙の質疑の場にて納税に関す  
る内容がありました。その件を含めて  
協会は本年度に税務署の指導も受けな  
がら過去のものも含めて適切な納税処  
理の実施に努めています。理事会、事  
務局の皆様には引き続き公益法人とし  
て法令遵守をお願いします。  
協会の一助となれるよう 監事として  
次の1年も務めさせて頂いただけると嬉  
しいです。皆様よろしく願います。

日本ジャグリング協会オフィシャルマガジンShall We Juggle? No.63  
発行 特定非営利活動法人日本ジャグリング協会 Shall We Juggle?編集部

#### Shall We Juggle? 編集部

編集長	たまきゆかり
副編集長	米屋遊
編集主幹	たまきゆかり
編集員	岡本光平 植野洋子 瀬田カズヒロ りん 西野順二 まゆこ
撮影	Motofumi Kimura まゆこ 岩成 豪 西野順二 米屋遊
レイアウト	いけやん
協会誌担当理事	米屋遊
E-mail	swj@juggling.jp
Web	https://www.juggling.jp/swj/



日本ジャグリング協会webサイト  
https://www.juggling.jp/

必ず  
読みましょう

# 観覧者のみなさまへ

——— 来年以降もJJFを開催するために ———

● JJFチャンピオンシップ、ゲストステージ観覧にあたって、以下の事柄を遵守してください。

来場前から**検温・体調管理**を十分に行い、**感染が疑われる方との接触**があった場合および**体調不良**の場合には来場を取りやめること

- 平熱を超える発熱
- 咳、のどの痛みなど風邪の症状  
だるさ(倦怠感)、息苦しさ(呼吸困難)
- 嗅覚や味覚の異常
- 体が重く感じる、疲れやすい等
- 新型コロナウイルス感染症陽性とされた者と濃厚接触した

- 同居家族や身近な知人で感染が疑われる方がいる
- 過去14日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域への渡航又は当該在住者と濃厚接触した



公演中に大声での声援は行わず、**拍手のみ**とすること

チャンピオンシップ出場者の応援や難しい技への賞賛のために大声を出すことはジャグリング大会の文化とも言えますが、**今年は絶対に行わず、拍手のみ**としてください。



会場内では**マスクを着用**すること

マスクは鼻と顎を覆って適切に装着し、マスクをしていても咳エチケットを心がけてください。**ワクチンの接種が完了していてもマスクの着用は必要です。**特別な事情により着用できない場合にはフェイスシールドなど別の対策を行ってください。マスクを着けていない場合、個別に事情をお伺いする可能性があります。



COCOA・各自治体等の**感染管理システム**を利用すること

COCOAはスマートフォン等のバージョンによってインストールできない場合がありますので必須とはしませんが、可能な方は利用してください。また、COCOAが利用できない場合も、LINE、メールなどを用いた各自治体等の感染管理・通知システムがあるので、**少なくとも一つは必ず利用**してください。



公演前後も集会を避け、**多人数での飲食店の利用や宴会は行わない**こと

公演前後も集会を避け、打ち上げ、感想の共有については**SMSやビデオ通話**を利用してください。



こまめな**手洗い・手指消毒**を行うこと

会場内に手指消毒薬が設置されます。多くの人が触れる部位に接触した後、他の参加者と接触した後、咳やくしゃみをした後、マスクにふれた後、その他必要に応じて**手指の消毒**を行ってください。



入退場に関する**指示に従う**こと

混雑を避けるため、入退場、休憩について座席ごとの**指示**がある場合がありますので**従ってください。**配慮が必要な場合には申し出てください。



出演者との**接触を避ける**こと

入待ち、出待ちは**行わない**でください。また、プレゼント、差し入れ、祝花などは**控えて**ください。

**体調不良**は申し出ること

JJFには救護担当者が常駐しています。新型コロナウイルス感染症の疑いの有無にかかわらず、**安全なイベント開催のため、体調不良時は申し出**てください。状況に応じて、医療機関等に連絡をとり受診のお手伝いをします。



会場内での**会話は控える**こと

**最高峰の演技に興奮を禁じ得ない**と思われるかもしれませんが、休憩時間、退場時も**会話は最小限**とし、大声を出す事、大人数で集まることは**避けて**ください。



会場に**大きな荷物**をもちこまないこと

感染対策の観点から本年はクロークを設置しません。**手荷物は最小限**にとどめてください。



当文書の内容、現場での各種指示に従えない場合、個別に注意、または退場していただく可能性があります。また、チケット購入時に入力した個人情報は一カ月程度保存され、必要に応じて保健所などの公的機関に提供される可能性があります。来年以降もJJFを開催するため、どうかご理解、ご協力をお願いします。

